

【十勝沖地震津波】

昭和43（1968）年5月16日、北海道から東北北部で揺れや津波の被害があり52人が死亡、330人が重軽傷を負いました。

幸いにも釜石では死傷者は一人も出ませんでした。が、家屋、水産、農林、商工業などが、約5億1千万円に及ぶ大被害を受けました。特に水産関係は被害が大きく、海苔、若布などの養殖施設や漁船の被害は、約3億2千万円にものぼりました。



両石町の被害



浜町の被害

発生日時：1968年5月16日 9時48分

発生場所：青森県東方沖

規模：マグニチュード 7.9

最大震度：5（釜石は震度 4）

最大波高：5m

釜石で観測された波高

釜石 3.0m

両石町 1.9m

片岸町室浜 4.7m

◆被害額（単位：千円）

家屋関係	96,400
水産関係	326,591
商工業	52,746
農林関係	1,537
上下水道	475
その他	33,115
合計	510,864

◆家屋被害

全壊	—
半壊	—
家屋流失	—
床上浸水	162戸
床下浸水	154戸

【被害状況】広報かまいし 第470号

昭和43年5月25日

1986年十勝沖地震津波災害特集より